



# いしかわ労福協

第 528 号 2012年1月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会  
発行責任者 狩山 久弥  
編集人 上野 貞彦  
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号  
電話 (076) 231-1737  
FAX (076) 231-1731  
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>  
[info@ishikawa-rofukukyo.jp](mailto:info@ishikawa-rofukukyo.jp)  
毎月1回 25日発行  
定価 一部 20円  
昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

## 謹賀新年



兼六園から、医王山の日の出

石川県労働者福祉協議会

理事長 狩山 久弥



新年あけましておめでとうございます。

昨年は各自治体や、労働団体、事業団体をはじめ、関係各位の皆様よりご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます。

石川労福協はこの一年、ライフ・サポートセンターが中心となり、「暮らしの総合サポートセンター」として、「子育て支援事業」「福祉なんでも相談事業」「無料職業紹介事業」を中心に働く者の生活と福祉の向上をめざし活動を展開

してきました。

しかし、働く者の雇用と生活は危機的な状況にあります。経済低迷が20年続き、デフレからの脱却ができない中で、格差社会は深刻化し、貧困層は増大、ワーキングプアとよばれる年収200万円以下の者は1,000万人を超えています。また、生活保護世帯・受給者は増加を続けている一方で、少子高齢化の急速な進行で生産年齢人口は減少し、社会保障制度の維持も困難な状況に陥ることが想定されます。

今こそ、「連帯と相互の支え合いという協力原理が活かされる社会、ぬくもりある思いやりの社会、人とくらし・環境に優しい福祉社会」の実現が必要です。

新しい日本の社会像を創造するため、関係各位の皆様にご理解とご協力をお願いし、新年の挨拶とします。

## 石川労福協・連合石川 2012 新春の集い



2012 新春の集いは、石川労福協と連合石川が共催して1月5日(木) ANA クラウンプラザホテル金沢において開催された。

石川労福協が共催して9回目となる「新春の集い」には、谷本正憲石川県知事らの自治体首長や国会議員などの来賓、労働者福祉事業団体、地域ライフ・サポートセンター、連合構成組織から約270名が参加した。

狩山久弥労福協理事長(連合石川会長)は「3.11 東日本大震災の復興・再生に向けて引き続き支援行動を行っていく。日本社会が持続していくための可能性を脅かす貧困・格差問題、



狩山久弥  
労福協理事長

急速な少子高齢化による労働力供給構造の変化によって危惧される経済の縮小と社会保障制度の維持などの状況から脱するために、連合が新しい社会像として提唱する『誰もが公正な労働条件のもとで多様な働き方を通じて社会的にも経済的にも自立し共助と繋がりを強めていくとした[働くことを軸とする安心社会]』を実現していくことが必要である。また、働く者の処遇改善に向けた2012 春季生活闘争、連合組織の拡大に取り組むほか、労福協、労働者福祉事業団体と連携した『暮らしの総合サポートセンター』として労働者、退職者、高齢者との自主福祉活動を通じて生涯福祉の向上のため地域貢献をしつつ、地域社会を構成する一員として自治体と連携した活動を行い地域に根ざしていきたい。」と開会挨拶をした。

また、谷本正憲石川県知事が「景気と雇用の拡大のために地域拠点の整備と企業立地の推進を進めたい。」と挨拶したほか、磯部隆文石川労

### 祝辞をいただいた方々



谷本正憲石川県知事



山野之義金沢市長



磯部隆文石川労働局長



金原博民主党石川県連代表代行



盛本芳久社民党石川県連代表



田中美絵子衆議院議員



近藤和也衆議院議員



北尾強也連合石川法曹団代表



連合石川地方議員団





2012年が良い年になるよう乾杯

働局長が「求人は増えつつあるも有効求人倍率は1倍に至っておらず、また、障害者雇用の拡大にも努めていきたい。」、山野之義金沢市長が「正に行政が行うべき地域の街づくりのために労福協・連合石川と連携していきたい。」とそれぞれ来賓の挨拶があった。

このほか、田中美絵子、近藤和也の両衆議院議員、金原博民主党石川県連、盛本芳久社民党石川県連の政党代表者、連合石川法曹団を代表して北尾強也弁護士らがそれぞれ祝辞や決意を述べ、労福協・連合石川を中心とした労働者の

ための運動の向上・実現に向けた決意が表された。また、連合石川が推薦する県議、市議、町議の地方議員団31名を代表して田中仁金沢市議会議員が、共に連携を図り働く者の生活基盤の向上に努めたいと唱えた。

宮下亮労福協専務理事が「労働者福祉の向上のために皆さんとともに努力していきたい。」と閉会の挨拶に続き、狩山理事長の音頭で“団結ガンバロウ”を三唱し、2012年の労働者福祉運動が始まった。



宮下亮労福協専務理事



2012団結ガンバロウ

## 労福協第5回理事会

石川労福協は、12月14日(水)にフレンドパーク石川において第5回理事会を開催した。

理事会では、第35回研究集会の開催、会館施設の整備などの協議議題や福祉なんでも相談アドバイザー会議などの活動報告がされ、提案どおり承認された。

今年度の研究集会は、福祉なんでも相談事業において増加傾向にある「“うつ”の相談」をテーマに開催することとした。また、会館施設整備では、会館入居者はもとより会議室等利用者、

訪問者の健康増進と利便性向上のため喫煙室を設置することが決定された。

なお、将来構想懇談会にて対応を進めてきた各地区労働会館の新公益法人制度による移行手続きについては、これまで関係者に対し説明会や懇談会を通じて問題の重要性や存続のための課題を提起してきたが、未だ組織としての対応が十分でない会館もあることを報告し、今後は連合石川や労福協、会館に関係する労金、全労済が連携して指導・相談していくことが確認された。

## これからの行事予定

(1月15日現在)

| 開催日   | 曜日 | 行 事                  | 会 場       |
|-------|----|----------------------|-----------|
| 1月18日 | 水  | 第35回石川労福協研究集会        | フレンドパーク石川 |
| 18日   | 水  | 輪島・穴水LSC「新春の集い」      | 高州園       |
| 2月16日 | 木  | 中部労福協第41回総会          | 三重県四日市    |
| 21日   | 火  | 労福協「第6回理事会」          | フレンドパーク石川 |
| 28日   | 火  | 第8回ライフ・サポートセンター代表者会議 | 〃         |



石川県知事

谷本 正憲

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進に深いご理解とご協力を賜っておりますことに、本誌面をお借りして心から感謝申し上げます。

本県の交流基盤整備の総仕上げとも言える北陸新幹線については、昨年末、国において、金沢・敦賀間の新規着工を認める方針が決定されました。北陸新幹線が県内全区間で繋がり、まさに県民の悲願が実現する見通しとなり、これまでの多くの皆様方のご尽力に心から感謝を申し上げたいと思います。

今後とも、平成26年度末までの金沢開業はもとより、敦賀までの一日も早い開業、大阪までの延伸について、関西圏を含めた沿線各県と連携を密にし、最大限の努力をしていきたいと考えています。

本県も人口減少時代を迎えた中、本県の活力と賑わいを育んでいくために、北陸新幹線をはじめ、空港、港湾、道路等の広域交流基盤を連携させることを通して、人やモノの交流をより一層盛んにしてまいりたいと考えております。

さて、本県経済につきましては、個人消費が下げ止まり、生産水準が回復しているなど、全体としては持ち直しの動きが続いているものの、海外経済の減速や円高の影響を受け、一部でそのペースが緩やかになっております。雇用情勢については、厳しさが和らいでいるものの、有効求人倍率が一倍を下回る状況が続いております。

こうした中、県では、関係機関と連携して、景気の持ち直しを後押しすべく、経済・雇用対策を強力に推進してきたところであり、切れ目なく、セーフティネットの充実強化に取り組んでまいりました。

今後とも、経済・雇用情勢を注視し、時期を逸することなく必要な対策を講じるとともに、雇用・労働問題の解決や労働条件等の改善についても、関係機関と連携を図りながら、積極的に取り組んでまいります。

また、貴協議会においては、子育て支援ネットワークにより、子育て家庭における「仕事と育児の両立」の支援に取り組んでおられ、関係各位のご尽力に感謝申し上げます。次第であります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



石川県市長会

会長 山野 之義

(金沢市長)

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には、市政の推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、東日本大震災の発生や、歴史的な円高の進行等により、景気の先行きが不透明な状況が続き、雇用情勢も一部回復傾向がみられたものの、依然として厳しい状況が続いた一年でありました。

こうした中、私ども各自治体といたしましても、景気・雇用対策を最優先とし、緊急雇用創出事業により新たな雇用を確保するなど様々な施策に取り組んできましたが、今後とも、市民生活の安定に最善を尽くしてまいり所存であります。

また、金沢市においては、3年後に迫った北陸新幹線の開業を控え、その効果を最大にするために、「歴史都市」および「クラフト創造都市」にふさわしい金沢の新たな個性と魅力づくりや中心市街地における賑わいの創出のほか、国内外に向けての金沢の情報発信等に今後も積極的に取り組んでいきたいと考えております。

石川県市長会といたしましても、地方分権時代にふさわしい自立度の高い市政をめざし、市民生活の安全・安心の確保や地域経済の活性化などの課題に、一生懸命に取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりましたが、皆様方のご多幸を祈念いたしますとともに、本年も格段のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。







石川県町長会  
会 長 杉本 栄蔵  
(中能登町長)

平成 24 年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

旧年中、皆様には、各町政の推進につきまして格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私達は昨年、未曾有の災害「東日本大震災」によってあらゆる価値観が覆され、生命の大切さと絆の尊さを強く認識させられましたが、わが国経済は、今もってその対応に引きずられており、加えて歴史的円高や欧州債務危機、タイ洪水の影響から、国も地方も浮き上がるタイミングが見えない状況にあります。

また、社会情勢においても、少子高齢と人口減少、産業構造や社会保障制度の行き詰まり、環境、教育、等々、喫緊の課題も山積しています。

こういう厳しい時代、私たち地域社会においては、住みよい生活環境を実感できるよう、その舵取りには難しい局面もあると思いますが、町長会、各町としては、雇用の安定を主眼に、地域産業の活性化など、各地域の振興と住民福祉の向上のため最善を尽くしてまいりたいと考えております。

幸いに、それぞれの地域社会には、他に誇れる人々のつながりがあり、今後は、各町とも、住民と行政との協働でもって、ぬくもりと人間味のある施策を念頭に、効率的に自治・自立のまちづくりを進めていきたいと思ひます。

石川労福協ははじめ皆様方におかれては、一人ひとりが誇りと愛着を持ち住んでよかったと実感できるまちづくり実現のため、一層のご協力ご支援をお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとって、健康で幸多い一年でありますようお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。



労働者福祉中央協議会  
会 長 古賀 伸明

新年明けましておめでとうございます。

昨年の未曾有の災難を通じて、私たちはこれまでの社会のあり方や生き方について深く考えさせられ、「助け合い、支え合い」「人と人とのつながり」の大切さを学びました。この教訓を踏まえ、労働組合と協同組合の総力をあげて、絆・助け合いの輪を復興・再生に、そして日本社会全体の創り直しにつなげていかななくてはなりません。

いよいよ国連が宣言した国際協同組合年が幕を開けます。内外ともに協同組合の存在が期待されている今、これを契機に「共助」の組織である協同組合も、それを超えた「公益」や連帯経済の担い手としての新たな姿を示し、社会的存在感や価値、力量をさらに高めていくことが必要です。

今や日本は貧困や格差が広がり、自殺者も 13 年連続で 3 万人を超え、社会そのものの持続性が問われています。経済成長は人間の幸せのためにあり、手段であって目的ではありません。「世界じゅうの人たちが幸せにならなければ個人の幸せはない」(詩人・宮沢賢治)、「一部の貧困は全体の繁栄にとって危険である」(ILO フィラデルフィア宣言 1944 年)という言葉を変えて噛みしめたいと思ひます。

私たちは今、好むと好まざるとにかかわらず、大きな変革期を生きています。従来の延長線上ではなく、私たち自身が新しいコンセプトをつくっていく時代を迎えているのです。新しい仕組みやシステムをつくることは、一面どこかに痛みを伴う可能性もありますが、それを乗り越えていかなければなりません。

中央労福協は、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざし、これからも幅広いネットワークとの協働で、社会的連帯を深める運動や政策実現、ライフサポート活動の充実、協同事業・労働者福祉運動の基盤強化に取り組んでいきます。

新しい時代のステージをみずからの手で創造していくことが私たちの使命であるという気概をもって、この 1 年間ともに頑張りましょう。



石川県労働者福祉協議会  
理事長 狩山 久弥  
役職員一同

二〇一二年迎春



北陸労働金庫石川県本部

本部長 嶋垣 利春

2012年明けましておめでとうございます。昨年は、会員各位をはじめ皆さま方には労金運動、事業推進に深いご理解と多大なご協力を賜り心から感謝とお礼を申し上げます。

本年は、「辰」(たつ)年にあたります。辰年生まれの人、何をしてもテキパキとこなし威勢よく、負けずらいで、また、涙もろくて同情心もあり、人の相談事を快く引き受ける親分肌な面を持ち合わせる方が多いようです。

お陰さまで昨年10月、北陸労働金庫創立10周年を迎えることができました。

創立以来、幾多の困難を乗り越えながらここまで大きく育てていただきましたのは、ひとえに会員皆さまや協力団体皆さま方のご支援、ご愛顧の賜と心から感謝を申し上げます。これからも、10周年という節目を契機により一層、皆さまとの「絆」を大切に勤労者福祉金融機関としての社会的役割と使命を果すため、役職員一丸となって努力を積み重ねていく所存でございます。

さて、北陸労働金庫(石川)といたしまして、今、無担保ローン推進と併せて「ろうきん」とは…「誰が何のために」創ったのか、「一般銀行」とどう違うのかなど労金運動の原点、世代間継承を訴え、連合石川をはじめ多くの会員皆さまのご理解とご協力をいただいております。

もう一点は、現在の全国労金オンラインシステムが「次世代システム」へ移行する、その準備が進められております。実際には、2014年1月からの運用となる予定でございますが、システム全体の概要や移行にあたっての変更点など併せて今後、会員皆さまをはじめ、ご利用いただいております皆さま方に丁寧にご説明させていただきたいと思っております。

ぜひ、この次世代システム移行についてもご理解とご協力をいただきますよう心から重ねてお願いを申し上げ、最後に、会員、協力団体、皆さまのご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



全労済石川県本部

本部長 中村 栄一

新年あけましておめでとうございます。

組合員・協力団体の皆さま、ご家族の皆さまには、輝かしい新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は全労済石川ならびに石川共済の活動に多大なご理解とご協力を賜りまして、厚く感謝申し上げます。

全労済の理念「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」のもと、組合員の生命と暮らしを守り地域に貢献することを目的として事業を行ってまいります。

昨年3月11日に発生しました東日本大震災は、東日本全域にわたる地震や津波の災害とともに、原子力発電所を巻き込んだ大災害へと拡大しました。

全労済は震災発生直後から災害対策本部を立ち上げ、被災者の1日も早い生活再建と復興を願い、全役職員が一体となって現地調査や迅速な共済金の給付に努力して参りました。

昨年末までに全労済に寄せられた被災の申請件数は、15万件強、給付額は1,100億円弱となり、調査完了率は98.5%となっています。

更に、全ての対応が終了するまで、継続した活動を行って行く事としています。

本年は国際協同組合年にあたり、協同組合の意義と存在を再確認し、組合員・協力団体の皆さんと更なる『絆』を深め協同組合の連携、発展に尽力していきたいと思っております。

本年も皆さまにとりまして良き年となりますよう、ご健勝とご発展をご祈念し新年のご挨拶といたします。

### 本年も、私ども各地域ライフ・サポートセンターにご支援ご協力いただきますようお願いいたします。

|                     |                          |                        |                         |                        |                         |                        |                          |                    |                     |                    |                        |                        |                        |
|---------------------|--------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|--------------------|---------------------|--------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 加賀地域LSC<br>会長 山本 哲朗 | 小松ブロック運営委員会<br>委員長 紺谷 充弘 | 小松・能美地域LSC<br>会長 庭田 茂男 | 能美ブロック運営委員会<br>委員長 富田 航 | 白山・野々市地域LSC<br>会長 油 省三 | 西ブロック運営委員会<br>委員長 安田 昌彦 | 南ブロック運営委員会<br>委員長 柚木 稔 | 東北ブロック運営委員会<br>委員長 福田 佳央 | 金沢地域LSC<br>会長 綿 征一 | 河北地域LSC<br>会長 釜井 誠次 | 羽咋地域LSC<br>会長 西井 健 | 七尾・鹿島地域LSC<br>会長 野田 昭一 | 輪島・穴水地域LSC<br>会長 上野 正剛 | 珠洲・能登地域LSC<br>会長 宮藤 祐健 |
|---------------------|--------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|--------------------|---------------------|--------------------|------------------------|------------------------|------------------------|



(財)石川県労働者信用基金協会  
理事長 坂本 哲治

新年明けましておめでとうございます。

新たな年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、石川県労働者信用基金協会(石川労信協)に對しまして深いご理解と心温まるご支援・ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

お陰さまで、厳しい社会情勢・経済環境の中ではありますが、新規保証実行の減少と代位弁済の増加にもかかわらず一定の成果をあげ、基金準備金の積み増しとなるなど、北陸ろうきんの系統保証機関として「労働者の生活支援」の一翼を担うという事業目的達成に向けた事業推進を行うことが出来ています。

石川労信協の本年度の課題は、日々の事業推進のほか、公益法人制度改革への対応としての「一般財団法人へ移行するための申請」に向けた準備および新法人下での安定した事業運営となるための収支安定、効率的な経営、リスク管理、コンプライアンス経営、事業推進体制の確立、経営基盤の整備など基礎づくりに努めることです。

石川労信協は、私たちの先人達が築いてくれた「石川県内における労福協運動の基礎」をしっかり受け継ぎ、発展させ、次世代に繋げなければならないと言う精神を大切にしつつ、勤労者の生活支援となり得る保証機関として安定した事業運営に努め、石川県内の労働者福祉運動の一翼を担っていく所存です。皆さま方の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、みなさま方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



石川県生活協同組合連合会  
会長理事 横山 和男

年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は労福協はじめ各事業団体、自治体の皆様にはご厚情を賜り、心から御礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、たくさんの尊い命と生活を奪いました。多くの人々が家を流され、職場を破壊され、生活基盤を失いました。今、復興に向けた動きが始まっています。しかし、被災者・避難者の生活の再建には長い年月と多くの困難が予想されます。被災地の復興・復旧に向けて長期にわたり継続的な支援が必要です。組合員・消費者の暮らし全般に貢献する生協として、被災地に寄り添った取組みを継続していきたいと思います。

更に、東京電力福島第一原子力発電所の事故は、放射性物質を大量に放出し、生活環境を汚染し、国民に様々な困難を強いています。放射性物質は食品の安全にも影響を及ぼし、私たちは食品の安全性に不安を抱えています。

一刻も早く事故を収束させることと、私たち消費者が風評に踊らされることのない様、正しい情報の提供が必要です。また、今回の事故は私たちの暮らしのあり方そのものを問い直す契機ともなりました。安心して暮らせる持続可能な社会の創造に向けて知恵と力を寄せ合わせていきましょう。

2012年は国際協同組合年です。JA中央会、漁協組合、森林連など各協同組合と連携し、「協同組合の推進、社会・政府による理解・認知の促進」のための活動を展開し、成功させるため積極的に取組みをすすめていきます。

生協連は県内連帯の強化と交流を強め、消費者組織として社会的役割を発揮するとともに、本年も地域の信頼と期待に応える運営に努めてまいりたいと思います。何卒、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

**財団法人 石川県労働者信用基金協会**

金沢市西念3丁目3番5号  
TEL (076) 261-4347

恭賀新年



**石川県生活協同組合連合会**

金沢市西念3丁目3番5号  
TEL (076) 264-0550





石川県勤労者体育協会  
会 長 中谷 喜和

新年あけましておめでとうございます。

自治体をはじめ競技団体、企業、労働団体、勤体協役員の皆様方には、事業の推進に温かいご支援ご協力を賜わり、心から感謝を申し上げます。

昨春に東日本大震災が発生、未曾有の地震は大津波を伴い沿岸部の街も、家も、生活も何もかも奪い去り、多くの尊い命が失われたことに深い哀悼の意を捧げると共に、被災された方々に心よりお見舞い申し上げ、被災地の早期復興をお祈り申し上げます。

一方、スポーツ界においては女子サッカーW杯で佐々木監督率いるなでしこジャパンが優勝の偉業を達成、その栄冠を勝ち取るまでの日々の地道な努力と諦めないチャレンジ精神は、多くの国民に勇気と感動を呼び起こしてくれました。

スポーツで培った活力ある心身は、到来した高齢化社会の生活に不可欠であり、かつ重要な役割を担っています。勤体協では、これからも職域や地域に広くスポーツの普及拡大を図るべく、誰もが楽しく参加できる各種の大会を開催し、スポーツを通して勤労者の交流やふれあいを深めてまいります。

また、各地域ライフ・サポートセンターとも連携し生涯スポーツやスポレク部門の育成、定着に努めてまいります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



石川県勤労者文化協会  
会 長 大樋 長左衛門  
(文化功労者)

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には御清祥にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

労働者福祉協議会をはじめとする各事業団体の皆さまには、勤労者文化協会に対し、日頃の御厚情にこの場をかりて厚くお礼申し上げます。

昨年は、私ごとではありますが、文化勲章を受賞し、身の引き締まる思いで気持ち新たに大樋焼きの伝統を生かしながら新しい感覚あふれるものづくりに邁進し、美術愛好家の育成に貢献したいと考えています。

また、「第61回石川県勤労者美術展」は、皆様のおかげをもちまして成功裏に終えることができ重ねて感謝申し上げます。

ものづくり初心者の登竜門と言われている「石川県勤労者美術展」は、61回を重ね、多くの芸術家を生みだし、石川県内における芸術・文化の裾野を広げる役割を担ってきたと思っています。

これからも展示会を中心とした勤文協の事業に皆様方のご協力をお願いし、芸術・文化の向上に奮闘する所存です。

最後に、皆様方の御健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年の御挨拶といたします。

## 2012 第46回 石川県勤労者 冬季体育大会

| 開催地 | 開催日           | 種 目       | 場 所            | 申込締切日    |
|-----|---------------|-----------|----------------|----------|
| 金 沢 | 平成24年2月5日(日)  | 卓 球       | 金沢市総合体育館       | 1月23日(月) |
| 金 沢 | 平成24年2月5日(日)  | バスケットボール  | 額谷ふれあい体育館      | 1月23日(月) |
| 白 山 | 平成24年2月12日(日) | バスケットボール  | 美川溪リフレッシュセンター  | 1月23日(月) |
| 金 沢 | 平成24年2月19日(日) | バスケットボール  | 金沢市中央体育館       | 1月23日(月) |
| 白 山 | 平成24年2月19日(日) | バスケットボール  | 白山市若宮体育館       | 1月23日(月) |
| 内 灘 | 平成24年2月26日(日) | バスケットボール  | 内 灘 体 育 館      | 1月23日(月) |
| 金 沢 | 平成24年3月25日(日) | バスケットボール  | 額谷ふれあい体育館      | 1月23日(月) |
| 金 沢 | 平成24年3月25日(日) | バスケットボール  | 金沢市中央体育館       | 1月23日(月) |
| 金 沢 | 平成24年3月4日(日)  | ソフトバレーボール | いしかわ総合スポーツセンター | 2月20日(月) |
| 白 山 | 平成24年3月11日(日) | バドミントン    | 白山市若宮体育館       | 2月27日(月) |
| 金 沢 | 平成24年3月11日(日) | 卓 球(3人3W) | 金沢市総合体育館       | 2月27日(月) |



主催 (申込先) 石川県勤労者体育協会  
金沢市西念3丁目3番5号  
TEL 076-223-6675・FAX 076-223-6775

後援 北 國 新 聞 社  
石 川 県 教 育 委 員 会  
石川県労働者福祉協議会

## 第42回石川県勤労者 早春書画・生花展

と き 平成24年2月2日(木)～2月5日(日)  
午前10時～午後6時(最終日午後1時まで)

ところ アートシアターいしかわ  
ラブリ片町7Fギャラリー I  
金沢市片町2丁目2番5号

◇主 催 石川県勤労者文化協会  
◇後 援 北國新聞社、石川県労働者福祉協議会  
◇作品搬入 書画の部

・1月28日(土)～29日(日) 午前10時～午後4時  
・ラブリ片町アートシアター7F 会議室

生花の部  
・申込締切 1月20日(金)(郵便・電話・FAX可)  
・2月1日(木) 午後3時～午後6時(本展会場へ)  
(注)生花の管理は各自となります

◇問合わせ TEL (076) 231-1746 FAX (076) 231-1731  
金沢市西念3丁目3番5号(フレンドパーク石川3F)





NPO法人  
いしかわ介護ボランティアセンター  
代表理事 澤 信俊

新年あけましておめでとうございます。

戦後 66 年が過ぎ、多くの諸先輩が築き上げた日本の社会は、いま大きな転換期を迎えているのではないのでしょうか。食卓が満たされ、身の回りの生活用品にも何不足なく満たされ、飽食と飽物に耽る日々の暮らしを反省する時期にきたといえます。不足の時代は過ぎ、これからの新しい時代の社会は、その基本となる価値観を『知足』に求め、何事も問い直してみる必要があると思います。

昨年 11 月には、生活保護受給者が 205 万人を超え、過去最多だった 1951 年度を上回り、これからさらに増加することが予想されています。このように 21 世紀に入って、10 年あまりの間に労働者の非正規化が加速し、安定した生活が営めないという所得格差が深刻な社会問題になっています。

いま雇用と所得に恵まれた人々に問われていることは、「身の丈に合った幸福とは何か」を考えることで、それは日々の暮らしの中で、『吾唯知足(われ、ただ足るを知る)』という先人の智慧から学ぶことで、自身の幸福観が得られると思います。私は、バブル景気が弾けた 20 年前から、この『知足』の教えをもとにボランティア活動を継続してきました。これからもディーセント(品の良い)な生活文化をつくり出す源泉として、『知足』を大切に守り活動し続けます。東日本大震災で被災された人々の復興と、失われつつある社会の絆の再生のためにも…。

労働者福祉協議会が先頭に立ち、満足の文化から知足の文化へ一歩踏み出し、ディーセントな生活文化づくりに貢献されることを祈念いたします。



連合石川  
会長 狩山 久弥

新年あけましておめでとうございます。

日本経済は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災の影響、急激な円高・株安の進行や電力事情の不透明化などによる景況悪化の長期化が強く懸念されていましたが、大企業・製造業の業況判断 D I は大幅に改善し、震災後の生産、消費を中心とする日本経済の急激な落ち込みは、すでに震災前の水準にまで回復してきています。しかし、直近では、急速な円高やタイの洪水の影響から減益となる公算が大きく、先行きについても、欧州を起点とする経済や金融の混乱が世界全体に影響を及ぼし始め、一段と不透明になっています。

加えて、急速な少子高齢化の進行、長期のデフレ、非正規雇用の増大、格差・貧困問題などは、社会の持続可能性を脅かす構造問題に直面しています。

デフレ経済からの脱却や、持続可能性ある社会づくり、働く者一人ひとりが安心して暮らしていける社会を実現するために、労働組合が果たす役割は重要です。連合が提唱する「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け取り組んでいきます。

石川労福協をはじめ、各事業団体の益々のご発展を祈念するとともに、連合石川に対する変わらぬご支援とご協力をお願いし、新年のご挨拶とします。

## フレンドパーク石川

### 防災・AED講習会

フレンドパーク石川は、12 月 15 日(木)「自然災害時における対応と AED の操作」として防災・AED 講習会を開催し、参加した会館入居者約 20 名が万一に備えた知識と技術を養った。

自然災害の対応については、金沢市市民局危機管理課の市村達也担当課長補佐が「阪神淡路大震災などの大規模災害時のデータからも、万一の時、



命を守るには、自ら身を守る自助と互いに助けあう共助の二つが被害者救出において最も重要であり、救急・消防・警察などの公助に繋ぐ大切なポイントである。また、食料の蓄えや、自治会・近隣者との連携などについては、自らが備えることが重要である。」と講演した。



AED の操作については、フレンドパーク石川に導入した AED と同型器を用いて、AED 納入業者の協力により、実際の操作と説明が行われるとともに参加者が順次、操作の訓練を実施した。

## 河北 L S C

河北地域 LSC は、12 月 25 日(日)のクリスマス当日に、青木クッキングスクールの加藤先生を講師に迎え「第 6 回クリスマスケーキ作り」をかほく市宇気公民館において開催した。

今年は、初めて各市町のファミリーサポートセンターにチラシを置き利用者に周知した効果もあり、昨年より多い 34 家族、計 90 人が参加となった。

加藤先生のユーモアたっぷりの説明と実演で始まり、続いて各家族 1 台のデコレーション



講師の指導に熱心に聞き入る参加者親子

ケーキ作りに取り組み、中には、三世代で楽しくわいわい言いながら作っている様子が微笑ましかった。

最後に、加藤先生が実演で作ったクリスマスケーキが当たるビンゴゲームを行い、楽しいクリスマスケーキ作りを終えた。

なお、アンケートによる参加者からの意見を参考に来年以降の取組みを検討します。

河北地域 LSC 事務局 吉川武久



本年もよろしく申し上げます。

各種集会・講演会・研修会等には

**フレンドパーク石川**を

ご利用下さい。

予約は  
電話で  
OK!

(076) **234-2421**

いまこそ、ろうきんの

# ローン

ただいま



自動車ローン  
「くるま自慢」  
「教育ローン」  
キャンペーン  
実施中！

2012年4月30日まで



北陸ろうきん

<http://hokuriku.rokin.or.jp>

検索



生活応援バンク  
**ろうきん**

いまの時代に  
生きる安心を、  
一人ひとりへ。

ZENROSAL NEWS




安心して生きていく。自分も、家族も。

## こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・終身生命共済・個人民間生命共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会